年間授業計画

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教　科： 家庭　　科　目： 家庭基礎　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（１組：内堀）

使用教科書：（ 教育図書 『Survive!! 高等学校 家庭基礎 』 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 生活の営みにかかわる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参加しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　２章　衣生活 【知識及び技能】 ・被服は，気候・風土によって異なる一方，人生という長い時間軸でみると，ライフステージによっても違ってくることを理解する。自分の身のまわりの布がどのような繊維でつくられているかに関心を持つようにする。エプロン製作を通して、よりよい衣生活の実践に役立てられる態度を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近年の消費行動の多様化・個性化が多量の死蔵品を生む要因となっていることを理解し，消費のあり方を考える。 ・中古衣料のリユースやリフォームの工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・衣生活の面からできる，環境に負荷を与えない行動を考え，実践する。	・指導事項 1　人の一生と被服 2　被服材料と管理 3　エプロン製作 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・作品・考査	○	○	○	8
	B　１章　消費生活・環境 【知識及び技能】生涯発達の視点に立って，乳児期から高齢期までのライフステージの特徴と課題を見通し，その課題を他者と関わりながら達成し，生まれてから死ぬまで発達し続けていくという考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自立した生活を営むために，生涯を見通しながら，様々な生活課題に対応して適切に意思決定し，責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める 【学びに向かう力、人間性等】自分の目指すライフスタイル	指導事項 1　年齢の引き下げ 2　契約と消費者トラブル 3　消費者の権利と責任 4　生活費と家計　将来の経済計画 5　これからの消費生活 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・考査	○	○	○	4
	C　６章　高齢期の生活 【知識及び技能】・生涯を見通して高齢期を捉えることができるようになる。 【思考力・判断力・表現力　等】・長くなった人生を，可能な限り充実させるには何が必要か，自分たちはどう老いていきたいかを考える。 【学びに向かう力・人間性等】・高齢期の人たちにとっての，地域での生活の大切さを理解する。	・指導事項 1　超高齢化社会を生きる 2　人生のなかで高齢期をとらえる 3　充実した高齢期へ ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・考査	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2学期	D　３章　食生活 【知識及び技術】 ・日常の食生活を振り返り，健康や生活習慣に直結する食事について学ぶ意欲を高める。 ・現代の食生活の実情を知り，健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。 ・家族や仲間といっしょに食べることのメリットを理解し，食事を大切にすることができる。 ・無駄のない食材の使用や，環境に負荷をかけない食生活上の工夫を考える。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ライフステージに合わせた食事計画を立て，１日３食のバランスがとれた形でつくれるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ・栄養・し好・味わい・予算・調理時間などを考えて合理的に献立が作成できるようにする。	指導事項 1　人の一生と食事 2　栄養と食品 3　食生活の安全のために 4　食生活をデザインする 教材 一人一台の端末活用　　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・考査	○	○	○	18
	E　５章　子どもの保育 【知識及び技能】・乳幼児期は，その発達の段階に応じた親の働きかけが重要であることを親の保育態度と関連付けて理解できるようにする。 【思考力・判断力・表現力　等】 ・社会的自立のためには，子どもの発達に応じて基本的生活習慣や社会的な規範を身に付けさせることが親や家族の重要な役割であることを理解できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ・社会環境の変化による人間関係の希薄化，自然とふれ合う経験の不足，育児不安や孤立感，保育所不足と待機児童の問題などを取り上げ，子育て支援の必要性について理解できるようにする。	指導事項 1　子どもの発達 2　子どもの生活 3　子育て支援と福祉 教材 一人一台の端末活用　　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・考査	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3学期	F　住生活 【知識及び技能】・住居内で使用される化学物質による空気汚染などの実態について知り，健康と住環境について関心を持ち，安心して住めるよりよい住環境について考える。 【思考力・判断力・表現力】さまざまな生活条件を持った人びとが，安心して住めるよりよい住環境について考える。 【学びに向かう力・人間性等】・住生活基本計画ではどのような住まいがめざされているかについて，関心を持つ。	指導事項 1　人の一生と住まい 2　住生活の計画と選択 教材 一人一台の端末活用　　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・考査	○	○	○	10
	G　8章　青年期・家族　生活設計 【知識及び技能】生涯発達の視点に立って，乳児期から高齢期までのライフステージの特徴と課題を見通し，その課題を他者と関わりながら達成し，生まれてから死ぬまで発達し続けていくという考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自立した生活を営むために，生涯を見通しながら，様々な生活課題に対応して適切に意思決定し，責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める 【学びに向かう力、人間性等】自分の目指すライフスタイルを実現するために，職業選択などの具体的な事例を取り上げたりして考察し，生活設計を工夫する。	指導事項 1　青年期を生きる　現代の家族 2　家庭生活の成り立ち 3　生活設計 教材 一人一台の端末活用　　等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 授業の取り組み・プリントの記入状況・考査	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 70